



『坂の上の雲』のまち松山
フィールドミュージアム 三津浜・梅津寺 サブセンターゾーン

みつはまのまちなみ

三津浜の町並み

地図
P23B3・4

路地のある懐かしい町並み

戦火を免れた三津浜には、かつて賑わった港町の面影を残した古い町並みが続く。江戸末期から明治期の建物が残るほか、路地や袋小路がたくさんあるのも特徴。ロケ地としてテレビドラマに登場した所もある。路地を歩きながら、商人や職人の営みを見ることができる。

DATA 伊予鉄道三津駅から徒歩5分



みつはまやき

三津浜焼き

三津浜のソウルフード

大正時代の一銭洋食までさかのぼり、常に三津浜の人々の生活とともにあったお好み焼き



あきやまよしふる・さねゆききょうだいどうぞう

秋山好古・真之兄弟銅像

海をみつめて立つ兄弟の像

梅津寺にある見晴山の、海に近い丘に好古・真之像が立っている。二人の銅像は、戦前には、道後公園内にあったが、昭和18年の軍への金属物資供出のため撤去された。好古像は、昭和45年梅津寺に再建された。真之像は昭和38年に石手寺境内に再建され、昭和43年に梅津寺の大丸山に移設されたが、平成30年7月豪雨の土砂崩れにより令和元年12月に現在の場所へ移り、兄弟の像が並ぶことになった。

DATA 伊予鉄道梅津寺駅から徒歩3分

地図
P23B2

さいしゅうひ

栽松碑

梅津寺海岸一帯の松林は、明治42年に松山にゆかりのある伊藤博文らの寄付を得て育てられたもので、その由来を後世に伝えるために昭和5年に建立された碑。



DATA 伊予鉄道梅津寺駅から徒歩3分

地図
P23B2

レトロでノスタルジックな港町

三津浜・梅津寺 サブセンターゾーン

主人公たちが青雲の志を抱いて旅立ち、降り立った古い港町。

青年時代の子規もこの町で俳句を学びました。

町並みや渡し船など往時の面影が今も息つき、瀬戸内海を見晴らす梅津寺背後の丘には、秋山好古・真之兄弟の銅像がたたずんでいます。

(注) 開館日時は、イベント開催や祝日等により変更される場合がありますので、各施設までお問い合わせください。
なお、料金につきましても同様にお問い合わせください。



もりけじゅうたく

森家住宅

昭和4年築。萬間屋、精米・精麦業を営んでいた森家の商売建築。木造2階建の主屋に連続して門・塀を設け、通りに面する店舗部分の柱間下部は御影石で固め、2階壁面・軒裏全面を銅板で仕上げている。2階は、私設の「三津濱資料館」になっており、当家に残る主に江戸時代から昭和初期までの三津浜に関する品々が多数展示されている。国登録有形文化財。

DATA ①松山市三津1-3-21 ②089-951-1061
③伊予鉄高浜線・港山駅下車、渡し舟(無料)を利用して8分。
④11時30分～15時 ⑤火曜、水曜 ⑥あり

地図
P23B3

みつわたし

三津の渡し

港町の情緒たっぷり

三津浜と港山の間を結ぶ市営の渡し舟。正式名称は松山市道高浜2号線、つまり市道なので年中無休・船賃は無料だ。室町時代に物資や食料の輸送に使われたのが始まりといわれ、500年を経た現在も、地区住民の生活に欠かせない足となっている。

DATA ①089-951-2148(松山港務所)
②伊予鉄高浜線・港山駅から徒歩2分 ③7～19時
※荒天による運休あり



ターナー島

ターナーの絵に描かれたような

漱石の「坊っちゃん」に登場する四十島(しじゅうしま)は、高浜港沖合に浮かぶ美しい島。小説の中で、野だいこが赤シャツにターナー島と呼ぼうと提案した。国の登録記念物(名勝地)である、海岸沿いには子規の「初汐や松に浪こす四十島」の句碑がある。

DATA ①松山市高浜町1
②句碑まで伊予鉄道高浜駅から徒歩7分

地図
P23A2

きせんのりばとしきのくひ

きせんのりばと子規の句碑

地図
P23B3

ここからみんな、旅立っていった

三津は松山藩の御船手組(おふなてぐみ)(船奉行所)が置かれた由緒ある港町。遠浅のため、三津浜港では大型汽船は沖合に停泊し、はしけ船が乗客をわたしていたという。子規や秋山兄弟、漱石もここから出港した。きせんのりばの碑は三津3丁目から現在の地へ移転している。子規の句碑「十一人一人になりて秋の暮」は、明治28年子規が故郷での療養のあと再び東京へ旅立つ際、宴を催してくれた友人たちと別れた後の寂しさを詠んだもの。



DATA ①松山市三津1
②伊予鉄道三津駅から徒歩15分



つじいど

辻井戸

三津浜は良質の地下水に恵まれている。辻井戸は、藩政時代に松山藩主が御船手を配備した時、彼らの専用水として掘られたもので、明治以降は住民の大切な水源となり、昭和初期の上水道整備まで使われた。現在ではベンチなども置かれた憩いの空間になっている。

DATA ①松山市住吉2
②伊予鉄道三津駅から徒歩5分

地図
P23B3



いしききせんのりばとしきのくひ

石崎汽船旧本社

大正13年築。木子七郎の設計による鉄筋コンクリート2階建ての建物。正面が左右対称形、バルコニーやレリーフなど洋風の意匠が施された、当時としてはハイカラな建物。国登録有形文化財。

地図
P23B3



あきやまよしふるのしゅうひ

秋山好古の書碑(荒神山)

大正11年の軍事演習の際、昭和天皇が野立場(休息所)とした場所に立てられている。

DATA ①松山市高浜町2
②伊予鉄道高浜駅から徒歩10分

地図
P23A1



おおはらきじゅうのはか

大原其戎の墓(三津公園)

大原其戎は俳諧の宗匠。21歳の子規に、俳諧を手ほどきしたことも知られる。

DATA ①松山市大可賀1
②伊予鉄道山西駅から徒歩15分

地図
P23B5



とらふし

虎舞

三津厳島神社の秋の大祭最終日(10月7日午前0時30分頃)に奉納される。松山城初代城主・加藤嘉明が朝鮮出兵の際に山中でしとめた虎を秀吉に献じ喜ばれたという伝説にちなんだもの。

DATA ①089-951-1471(三津厳島神社)
②伊予鉄道三津駅から徒歩5分 ③20台

地図
P23B4



にらうせんえきよりうちゅうつひ

日露戦役表忠碑(厳島神社)

三津厳島神社内にある。碑には表忠碑という書が彫られている。揮毫は陸軍大将秋山好古によるもの。

DATA ①松山市神田町1-7(三津厳島神社)
②089-951-1471
③伊予鉄道三津駅から徒歩5分 ④20台

地図
P23B4



ここも
見逃さない